

荒砥高校をサポートする理由

■町全体の活力アップのため

町内に高校がある、高校生や若者がいるというだけで、その町は活気に満ち溢れます。想像してみてください、町中に若者がいなくなつた場面を。あまりにもさみしくありませんか？

また、高校生などの若者は、町内の企業にとって大変貴重な労働力となつてくれます。少子化で子どもたちの数が少なくなつてきている今こそ、町内に定着してくれる若者を増やす必要があります。



若者であふれる商店街にしよう！

■私たちの「足」を守つてくれる救世主



フラワー長井線を守ってくれる荒高生

荒砥高校生の約6割は町内の中学校出身者です。残りの約4割(75人)は、長井市や飯豊町など町外から通学している生徒です。

そしてその多くの生徒が、フラワー長井線を利用しています。赤字経営で大変な状況のフラワー長井線ですが、私たちの貴重な「足」としてなくてはならない鉄道です。その鉄道を利用し支えてくれている荒砥高校生を私たちも応援しなければなりません。

地域に密着した高校生の活動

■ボランティアサークル

荒砥高校には、昭和57年に発足したボランティアサークル「あさがお」があり、毎月定例会を開催し、活動内容の検討などを行い、花植えや清掃、募金活動、イベントでのお手伝いなどを行っています。30年以上続くこの活動は、荒砥高校の伝統でもあります。



おかえりなさいコンサートでの受付

■地域貢献活動

荒砥高校は、地域貢献活動に力を入れており、吹奏楽部による保育園での訪問演奏や、学年ごとに行われる町内福祉施設の清掃作業や各種イベントでの手伝いなど、さまざまなボランティア活動に力を入



吹奏楽部による訪問演奏

れています。

■ふるさとCM制作

毎年年末、山形放送で放映される「山形ふるさとCM大賞」。これまでは町職員などが作成してきましたが、1月に行われた荒砥高校生と町長による座談会で、高校生の口から「CM作りをやってみたい！」という声をいただき、今年度は高校生にアイデアなどをお願いすることになりました。若い柔軟な発想で白鷹町を上手にPRしてほしいと思います。どのようなCMになるのか楽しみです。(8月中旬に撮影の予定)

平成

3年12月15日

山形放送愛の事業団より

「愛の鳩賞」受賞

5年4月8日

グラウンド全面改修工事完

成

6年8月10日

家庭科棟竣工

9年7月1日

体育施設開放開始

10年10月9日 記念会館(復

禮会館)竣工

11年4月1日

コース制を導入

12年4月1日 全日制課程の

普通科3学級となる

18年4月1日 全日制課程の

普通科2学級となる

20年10月20日

創立60周年記念式典挙

行

創立60周年記念誌「克己復禮」

より抜粋

